

評 価 書 (抜 粋)

宮 城 県

平成19年度公共事業再評価の結果は、以下のとおりである。

記

審議対象事業、事業概要、審議の経過、審議の結果については、報告資料2と同じため省略
評価の結果

以下の事業を継続する。

羽田川通常砂防事業
国道398号石巻バイパス整備事業（期）
仙台港背後地土地地区画整理事業
都市計画道路八幡築港線道路改築事業
かんがい排水事業（江合川右岸地区）
経営体育成基盤整備事業（江合左岸地区）
経営体育成基盤整備事業（松島東部地区）
経営体育成基盤整備事業（鹿島台東部地区）
経営体育成基盤整備事業（川北地区）
経営体育成基盤整備事業（飯島地区）
経営体育成基盤整備事業（米谷地区）
経営体育成基盤整備事業（桜場地区）
経営体育成基盤整備事業（大川地区）
磯崎漁港 漁港環境整備事業
（以上14事業）

なお、事業の実施に関する意見に対しては、以下のとおり対応する。

1) 審議対象事業について

国道398号石巻バイパス整備事業（期）
石巻バイパスの整備に当たっては、交通安全施設の設置等について交通
管理者とさらなる連携を図り、道路交通安全性の向上に一層配慮する。

2) 今後の事業の実施について

(1) 街路事業

事業費で大きなウェイトを占める用地補償費をはじめ、軟弱地盤対策な
どの補助工法等を含めた工事費を着手前に正確に見積もるのは、事前調査
費用の制約もあり難しい面もあるが、当初全体事業費の算定に当たっては、
可能な限り正確に見積もるよう努めていく。

(2) 農業農村整備事業

経営体育成基盤整備事業の実施に当たっては、事業効果の実現に向け、
なお一層担い手への農地集積などソフト対策を市町村等関係機関と共に推
進していく。